

ともにひょうご。

対話と信頼で 改革を実現。

いなむら和美の政策 アクション30

2024/10/25

新しいひょうごを、ともにつくる。

～あなたとともに。地域とともに。～

兵庫県がかつてない危機に陥っています。

今の県政の混乱と停滞をこのままにしておくことはできません。

さまざまな方に背中を押され、この度、新しい兵庫の実現に向けて最初の一步を踏み出す決意をしました。

私が皆様とともに作りたいのは、

多様な県民の声が届く、風通しのよい県政です。

県民の暮らしを支える市町をはじめ、幅広い方々から信頼され、連携できる県政です。

抜本的な改革を進め、未来への責任を果たす県政です。

そのような県政運営によって、安心して多彩な魅力あふれる兵庫を、皆様とともにつくっていきたい。

1人ではできない挑戦です。

けれど、共感してくださる皆様と一緒に、必ず、新しい兵庫の未来を切り拓いていくことができると確信しています。

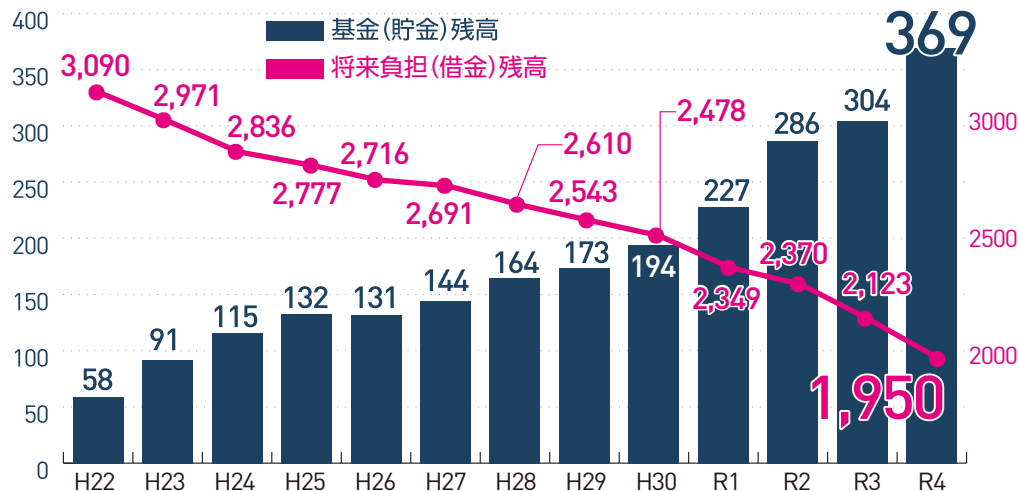
この挑戦の輪に多くの皆様が加わってくださることを信じて、全力を尽くします。

対話と信頼なくして、改革なし。

稲村 和美

兵庫県県議 2期7年 尼崎市長 3期12年

稲村市政における尼崎市の基金と将来負担の推移(億円)

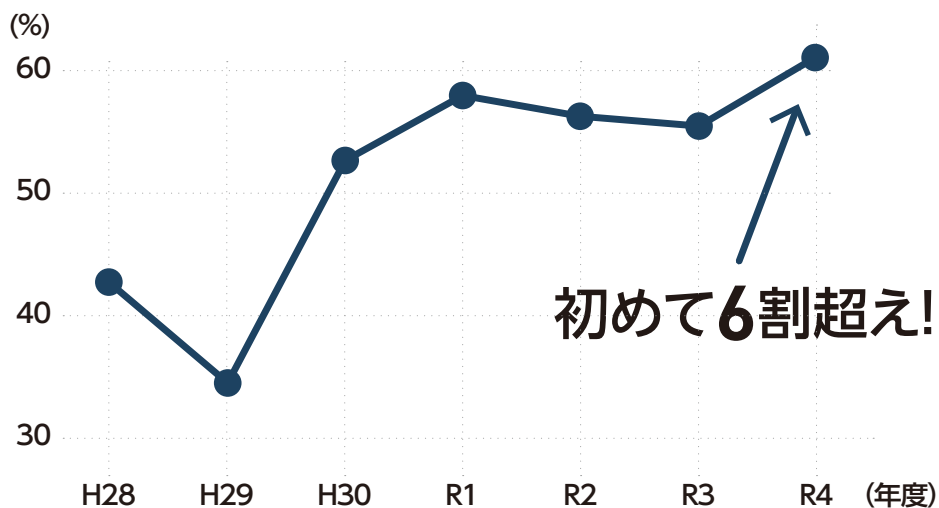


実績 財政改革を着実に推進。

- ① 借金の大きさを示す将来負担比率を
就任時183%(2010年)→**退任時19.5%**(2022年)に改善。
- ② 予算・決算における収支均衡の達成、基金(主要3基金)への
積み立ては就任時58億円→**退任時369億円**に。

兵庫県県議 2期7年 尼崎市市長 3期12年

尼崎市のイメージが良くなったと回答した市民の割合



実績 「本当に住みやすい街大賞2018 in 関西」
(住宅ローン専門金融機関)1位など、
自治体のイメージが向上。

- ① 市民アンケート「まちのイメージが良くなった」の回答は調査開始時の2013年31.8%から、2023年60.5%に。
- ② 2010年の1080人の転出超過から、2022年の1325人の転入超過へ。2023年は、1969年以降最大の転入超過に。
- ③ 市内公示価格の平均額は上昇を続け、尼崎の価値が高まり「選ばれるまち」に。

3本の柱

1 県民主役

対話を通じて信頼を回復し、しがらみにとらわれない、
風通しの良い兵庫県政をともにつくります。

2 地域力向上

県内市町の取組を尊重し応援する「バックアップ型県政」で、
兵庫の多彩な資源を活かし、
安心して暮らせる兵庫をともにつくります。

3 未来への責任

課題を先送りしない行財政改革で、
住みたくなる・住み続けられる、
持続可能な兵庫県をともにつくります。

まずは

混乱に終止符を!

対話を通じて信頼を回復し、風通しの良い兵庫県政へ

1. 今回の内部告発にかかる県の一連の対応を検証します。
2. 公益通報について、より高い信頼性のある仕組みに抜本改善します。
3. 知事・副知事・議員なども対象に含むハラスメント防止条例を制定します。
4. 職員が、知事ではなく県民の方を向いて仕事をするからこそ評価される新たな人事・評価制度を導入します

1

負担を軽減しチャンスを広げる。 「こども若者が幸せになる」兵庫県政



5. 市町の状況に応じた子育て支援策を財政的に応援する「子育て支援応援交付金」(仮称)を創設します。
6. 公立高校の魅力向上と県内高校生の多様な選択肢を応援する経済的負担軽減策を検討し支援を拡充します。
7. より多くの人を対象となる大学授業料の支援制度を創設
8. 教職員が子どもたちに向き合う時間を確保するため、学校現場への人的支援を拡充
9. 若者が県政に参画する「若者による兵庫未来委員会」(仮称)を創設

2

兵庫で働く。活躍できる。 時代の変化を乗り越える地域経済の実現



10. 物価高騰が続くなか、県民の生活支援、事業者支援を迅速に実施
11. 中小企業・地場産業等への人材確保、Uターンを含む若者の県内就職・定着に向けた支援を推進
12. 兵庫県の成長のため、市町と連携した企業誘致やスタートアップを支援
13. 兵庫の農林水産業を守り、1次産業従事者が安定して所得を得られる仕組み作り
14. 兵庫県の五国の自然や文化など多様な資源を生かした観光や特産品づくりを推進
15. 女性の多様なキャリア支援とともに、AIやICTなどを活用した業務改善と働き方改革を推進

3

命を守る。さまざまなニーズに対応する 医療福祉の充実



- 16. 児童相談所の機能強化、DV被害者への支援など、子どもと家庭の命と人権を守る
- 17. 医師の地域偏在・診療科偏在の解消に取り組み、県内全域での医療体制を底上げ
- 18. キャリアアップ支援や介護ロボットの導入支援など福祉・介護人材の確保・定着を支援
- 19. 農福連携や作業所等の工賃アップなど、市町と連携し障がい者福祉を充実

4

震災から30年。 経験を踏まえた防災・減災対策の強化



- 20. 国の防災庁設置に向けた議論をリードし、兵庫が経験した被災者の生活再建のノウハウの伝承と発展に寄与する
- 21. 地震、風水害、感染症等との「複合災害」への対策や広域避難など災害への対応力を強化
- 22. 県民を守るため、防災減災対策として「県民を守るハード事業」を優先実施
- 23. 建設費用を抑制、県有公共施設の総床面積を縮減しながら、防災拠点機能を有する県庁舎を整備

5

豊かな環境・文化を守り活かす 持続可能な社会づくりを推進



- 24. 再生可能エネルギーや省エネ等を促進し、脱炭素社会の実現に向けた施策を展開
- 25. 自動運転やオンデマンド交通など、市町と事業者を応援し、県民の移動できる権利を保障
- 26. 公営住宅の空き家活用や空き家対策について、地域の状況に応じた取組を充実
- 27. 伝統文化の継承と発展、スポーツの振興とともに、子ども若者の体験格差を解消

6

未来への責任を果たす。課題を先送りせず チャレンジする兵庫県政



- 28. 将来負担比率が全国ワーストの兵庫県。対話と信頼により行財政改革を推進
(県外郭団体は統廃合を含めゼロベースで見直し)
- 29. 県民局・県民センターの機能を見直し、市町の課題解決にともに取り組み「バックアップ型県政」へ
- 30. SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて取り組み、人権が尊重される社会を構築

534万人で兵庫の未来をつくる「ともにひょうご。」PROJECT

いなむら和美は、あなたと「ともに」、地域と「ともに」、官民連携で県政を進めます。

また特定の団体や組織と固定的な関係をつくらないことで、しがらみのない、県民ひとりひとりのための政治を実現します。

「ともにひょうご。」は、いなむら和美が、兵庫県534万人の皆様ひとりひとりと力を合わせ、新しい兵庫をともにつくるプロジェクトです。



五国キャラバン

"兵庫県の魅力は、5つの“国”に象徴される多様性。

その土地を訪れて直接感じ、そこに暮らすみなさまと

対話させていただくのが、とても大切だと考えています。

いなむら和美が各地を訪れ、どのような人々と、

どんな意見交換をしてきたのか、

日記形式とマップ(41市町+神戸市9区)でご案内しています。

五国訪問日記 <https://www.tomonihyogo.jp/caravan> 



あなたのアイデア募集

県民主役のために、地域力向上のために、責任ある未来をつくるために。

いまどんな困りごとがあるのか、そして解決できるかもしれないアイデアを、

みなさまからご応募いただきました。

そのすべてに、いなむら和美は目を通していきます。

みなさまから寄せられたアイデア <https://www.tomonihyogo.jp/idea/> 

みなさまの質問に、いなむら和美がお答えします。

公約や基本姿勢から、趣味などふだんの横顔まで、街角やホームページで寄せられたご質問に、

いなむら和美が、自分自身の言葉でお答えしています。

最新情報はこちら

SNS #ともにひょうご

ともにつくる兵庫みらいの会

ともにつくる兵庫みらいの会(愛称:ともにひょうご。)は、「いなむら和美さんに兵庫の新しいリーダーになってほしい」様々な人の思いがあつまるプラットフォームです。

〒651-0094 神戸市中央区琴ノ緒町5-6-21 三宮セキビル2F

info@tomonihyogo.jp TEL:078-231-3330

ウェブサイト

